

新春談話

新春を迎え、ここにあらためてニューロング工業として「機械屋」の方向性を明確にすることが重要だと考えている。

当社は2026年に



ニューロング工業
代表取締役社長

長 保行氏

「機械屋」の方向性明確に
誇りは新製品を世に出すこと

らの小袋製袋機技術「ケーシオン」を軸に顧客導入などを経て事業客との共創を実現するを強化してきた。包リーディングカンパニ製機の自動化にも挑戦へと成長を遂げている。販売を拡大した。

ミシンは台湾・フィリピンへの工場設立を通じて海外展開を効率化、デジタル化に

による生産ライン最適化、サステナビリティ対応、省人化と安全性向上、そして市場や顧客ニーズの多様化が進んでいる。これらの変化に柔軟に対応しながら、当社も技術進化と製品アップグレードを続けていく必要がある。前期は売上95億円を達成し、現在は「100億宣言」を掲げて活動を進めている。関連会社のマサミ産業、マセマチック、クドー機械開発、さらにニューロング精機も新たな展開している。

創業85周年を迎える。へと領域を拡大。ミシン進めた。こうして製袋創業期はミシン修理から始まり、やがてミシン袋機の開発、全国への用ミシンを主力とし、ン製造や包装機の開発、営業所展開、ドイツかダイレクトコミュニティ

開に取り組んでいる。「新製品を世に出すこと」を目標として、グローバル展開を見据え、市場に合った価格で完結する自動製袋包装機や、新型フレコン